

プロジェクト『T』！ 里山に秘密基地をつくれ！

～公民館流 地域・団体とのコラボによる『森林環境学習』をテーマとした
プレーパークの創設と企画運営～

飯南町 頓原公民館

1 頓原公民館の概要

頓原公民館は、県内でも有数の積雪地帯「飯南町」にある五館の公民館の一つで、頓原小学校区をカバーしています。

少子高齢化に歯止めがかからない状況に追い打ちをかけるような中国横断道三次～吉田間の開通による町内通行車両激減が危惧される中、地域の課題に向き合い、特に将来を担う子どもたちを対象とした事業の充実に努めています。

2 事業の概要

(1) 事業のねらい

公民館と地域・民間団体が連携し、町内の豊かな自然を活用した「森林環境教育をテーマとした プレーパークの場」を創設し、地域の住民の利用を図るほか、広く町外に情報発信し、近隣の施設とも連携して町外からの集客を図る。

(2) 具体的な取組

ア プレーパーク設置場所を町外からの利用利便性を踏まえ、花栗地区にある既存の産直市場「ぶなの里」裏手の遊林地とし、関係団体と連携した協議を重ね、開発に着手した。

(ア) 設置に向けた関係団体との協議 (H24.7月～ 月1～2回のペースで協議)

協議メンバー：頓原公民館・花栗振興会・産直市場ぶなの里・レストハウスやまなみ頓原地域デザイン研究会（地域活性化団体）・飯南町役場産業振興課 以上14名

◎この協議を重ねる中で、プレーパークの設置にとどめず、近隣の施設が連携してこの地域全体の振興を図るべきだとの合意に至り、民間主導で新たな振興団体を結成することとなった。（とんぼらの里山で遊ぶ会 結成）



関係団体との協議

(イ) プレーパーク予定地の整備

立木伐採・草刈り・整地作業・物置設置・仮設倉庫建設等に着手

◎関係メンバーのボランティアでの作業を始めたが、当初の想定を超える作業量のため、計画にはなかった重機を使った作業等も行い、見違えるほどきれいに整備ができた。

ボランティアによる整備作業



イ 視察研修・関係する研修会参加

- (ア) 「寺山公園プレーパーク」(広島市安佐北区) 視察
8月2日 5名参加(内 県立大生2名)

◎担当者から運営方法や備品等の説明を受け、中国地方のネットワーク等の情報も得ることができた。



- (イ) 「中四国冒険遊び場づくりフォーラム」(岡山市) 参加
10月2～3日 2名参加

◎プレーパーク(冒険遊び場)についての基本理念や各地の運営方法について学んだ。中四国のネットワークについても貴重な情報を得た。



中四国フォーラム

- (ロ) 「しまね子育て子育て支援ネットワーク全県交流会2012」参加 11月24日 1名参加
◎県内の子育て関係の施設・団体・運営方法について情報を得た。

ウ 森林環境学習「森の恵み講座」開講 冒険の森(プレーパーク)開園

- (ア) 冒険の森プレオープン(テラス設置作業)

9月9日 地元小学生 27名参加
スタッフ 6名参加

◎頓原公民館の児童対象活動「とんぼら探検隊」の9月定例会としてテラスの設置作業をスタッフと共に行い、ターザンロープやブランコなどの遊具も設置した。



参加型 冒険の森 遊び場づくり

- (イ) 第1回 冒険の森イベント 9月15日 25名(保護者含む) 県大生2名
スタッフ8名(県大生・講師含む)



◎エリア内の散策や遊具での遊び、砂袋で水路を堰き止めて水遊びをするなど、参加者が自主的に作業を行って遊び場を創っていくプログラムを取り入れ、好評だった。また、ツリークライミング体験講習等も行った。



(ウ) 頓原小学校課外活動での利用 10月18日(児童12名) 11月28日(児童11名)



◎頓原小学校の課外活動の場として活用された。

(エ) 第1回森の恵み講座 ～キノコ観察・採集～

10月27日(13名参加) スタッフ3名(講師含む)

◎講師を招き、キノコの観察・採集、採集したキノコの調理等を行った。



(オ) 第2回森の恵み講座 ～木の枝でつくろう!～

11月3日(22名参加)

スタッフ4名

- ・木の枝木の葉工作
- ・焼ビー玉 焼き芋
- ・カルメ焼き 他



(カ) 第2回冒険の森イベント ～冒険の森で忍者になろう!～

11月19日(24名参加) スタッフ5名

◎とんぼら探険隊の11月例会に合わせ、一般参加も募集。

◎終日冒険の森で忍者ごっこなどの自由遊び。



(キ) 第3回冒険の森イベント ～雪遊び かまくらを作ろう!～

2月3日(23名参加) スタッフ9名

◎雪不足のため会場を近くの別の場所に移して開催。





冒険の森で遊ぶ・遊歩道を散策（冒険の森は自己責任で終日一般開放）



3 事業の成果と課題

(1) 事業の成果

ア 公民館主導から地域主導による地域振興団体への移行（地域の「やる気」喚起）

- ・ 今回のプロジェクト実行にあたり、公民館が主導して地域や民間団体、周辺施設、町役場担当課等へ呼びかけて協議を重ね、計画に従って整備を進めた。この流れの中で、地元住民で組織する「花栗振興会」、隣接する「レストハウス・やまなみ」、「産直市場・ぶなの里」の意思疎通が図られ、課題の共通理解を深めることができ、所期の目的達成のための活動ができつつある。

一連の協議を重ねていく中で、この地域の再開発をもう少し大きい「くくり」で進めた方が良いとの結論に達し、新たに『とんばらの里山で遊ぶ会』の結成に至った。

当プロジェクトはその傘下に入り、地域（花栗振興会）が主導して周辺施設と行政を含め、より緊密な連携で事業に取り組むこととなった。今回のプロジェクトがきっかけとなって地域の「やる気」が引き出された。

イ 町外への情報発信と町外からの集客

- ・ 「冒険の森イベント」と「森の恵み講座」は、飯南町攻略サイト「さとやまにあ」ホームページ内のイベント情報コーナーに情報（案内チラシ）を掲載した。エリア内に案内板の設置、道の駅とんばら内の「レストハウス・やまなみ」「産直市場・ぶなの里」にポスター掲示を行い、集客に努めているが、情報の発信不足からか、町内住民の利用が大多数で、町外からの参加者は徐々に増加しているものの現在のところ少数にとどまっている。
- ・ 「レストハウス・やまなみ」では、「冒険の森」や隣接遊歩道の利用案内を行っており、休日には町外からの家族連れの利用客が見られる。（利用者未集計）

- ・町外からの「冒険の森イベント」「森の恵み講座」参加者数

冒険の森イベント第1回～3回	合計5家族16人
森の恵み講座第1回～2回	合計2家族・個人9人

ウ 地域資源の再発見

- ・ 今回のプロジェクトにより『冒険の森』及び周辺遊歩道の整備が進み、これを契機として『とんぼらの里山で遊ぶ会』が行政に働きかけ、行政による周辺の松枯れ木の伐採が行われるなど、埋もれていた地域の自然環境の改善につながった。

(2) 課題

ア 情報発信と町外からの集客のための企画立案

- ・ 『冒険の森』及び周辺遊歩道の基本的な整備は完了した。来年度以降の本格的な運用に向け、魅力ある企画立案と追加整備を行い、町外への情報発信を積極的に展開し、町外からの集客に努める。
- ・ 4月開設予定の頓原公民館ホームページ内に「冒険の森情報」掲載
- ・ 広島市～松江市間の国道54号線沿「道の駅」にポスター・案内チラシの設置
- ・ 県内及び中四国のプレーパーク関係ネットワークを活用した情報発信と集客
- ・ 道の駅とんぼら内「レストハウス・やまなみ」「産直市場・ぶなの里」と連携したイベントの開催（5月連休期間・7月～8月の土日曜日を予定）
- ・ 冒険の森内のため池に「モロコ・ワカサギ・フナ」の放流、釣堀開設
- ・ 「カブト虫園」「ドッグラン」「ビオトープ」「キノコ栽培園」等 開設

イ 安全管理・運営体制の確立

- ・ 本格的な運用に向け、施設の安全管理と運営体制を整える。

4 今後の方向性

公民館・地域・近隣施設・関係団体・行政が連携した『とんぼらの里山で遊ぶ会』を母体に、近隣施設（やまなみ・ぶなの里等）との共催行事等、魅力ある企画立案に努め、地域や関係団体との協働による遊具、施設等の追加整備を継続して行い、魅力ある施設にしていき、所期の目的である町外利用客の増加を図る。